

THE KANSAI UNIVERSITY BULLETIN

Osaka, Oct. 30th, 1956. No. 296

關西大學學報

昭和31年10月 第 2 9 6 号

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可
昭和三十一年十月三十日発行（毎月一回三十日発行）
通巻第二九六号



新装成れる体育館（天六）

關西大學學報局

学内報

新評議員会成立

昭和二十六年三月一日認可された現行の「学校法人関西大学寄附行為」による、学校法人改組後第二回目の評議員選挙は、去る九月二十五日（火）を期して関西大学評議員選挙委員会によつて行われ、寄附行為第十三条に基づき、法人の設置する学校長五名、教職員より十五名校友より五十名、理事の推薦する学識経験者十五名、計八十四名が新しく選ばれここに新評議員会が成立した。

なお、新評議員は左の通りである。

（敬称略、五十音順）

明石三郎 阿部甚吉 池田信之助 今井康兼 岩佐清三郎 岩崎卯一 植野郁太 宇佐美正祐 浦野健二郎 江里口春志 越智比古市 大小島真二 大島武夫 大森俊次 岡野衛士 織田佐代治 樫本信雄 勝島芳松 桂忠雄 門上敏夫 神宅賀壽恵 寒川喜一 川口勇 河村宜介 小寺小市郎 河野稔 小林巖 佐伯五郎 白川朋吉 関豊馬 高垣善一 高椋正次 竹澤喜代治 竹下百馬 辰馬卯一郎 千歳克郎 寺西武 戸根泰雄 中石清一 中務平吉 中山幸市 長尾昇 長柄金吾 浪江源治 仁尾常壽 西尾専太郎 西村治三郎 西本寛一 野間秀泉 春原源太郎

東浦榮一 久井忠雄 久松鹿治 平井三朗 深川實 福島四郎 藤野春三 本多喜慶 堀正人 松尾高一 松原藤由 松村睦鴻 三島律夫 水谷揆一 宮崎平 宮島綱男 三好萬次 村尾静明 村上精三 森寛紹 森川太郎 八百村稔 矢口孝次郎 矢口家治 保井剛一 矢野文雄 山崎敬義 横田健一 吉田一郎 吉田鹿之助 吉富二郎 辻詮 脇野徳三郎 渡邊正人

新評議員会開催 新役員決定

評議員改選後最初の評議員会は、十月十日（午後三時より、天六学舎の新装成つた体育館において開催された。会議の目的たる、評議員会の議長及び副議長を定める件（寄附行為第十七条）及び役員選任の件（寄附行為第十七条）並びに（寄附行為第十七条一項を二号並に十一号一項）等について審議した結果

評議員会議長には

阿部 甚吉

評議員会副議長には

大島 武夫

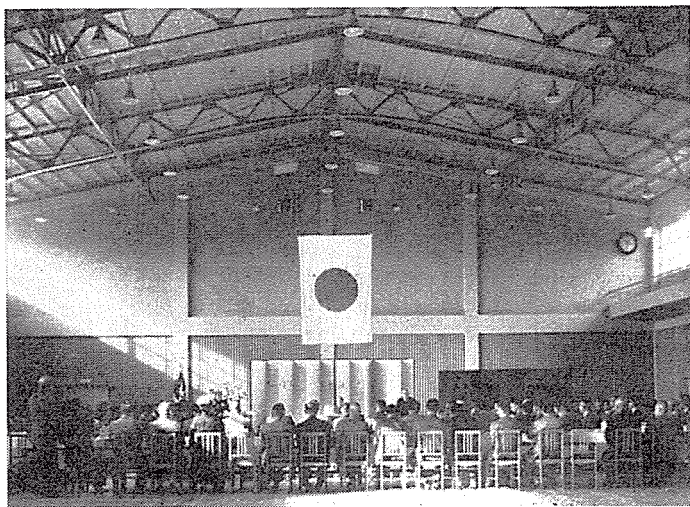
の両氏が選ばれ、続いて役員には

理事 神宅賀壽恵
理事 白川 朋吉
理事 西村治三郎
理事 久井 忠雄
理事 福島 四郎
理事 矢口孝次郎
監事 今井 康兼
監事 三好 萬次
監事 矢野 文雄
（五十音順）

の各氏が選任された。

出席者（敬称略、五十音順）

明石三郎 阿部甚吉 池田信之助 今井康兼 岩



新評議員会

理事長、専務理事、 常務監事 決定

役員選任後最初の理事会並びに監事会は十月十三日（午後四時より開催され理事長、専務理事、常務監事をそれぞれ左の通り決定した。

理事長 白川 朋吉
専務理事 久井 忠雄
常務監事 矢野 文雄

推薦理事に

宮本英雄氏

十月二十三日(火)、理事会は寄附行為第七條第一項第三号による推薦理事を左の通り選任した。

理事 宮本英雄

臨時評議員会

学校法人関西大学寄附行為第十七條但し書に基いて、九月二十四日(月)午後五時より千里山大学院において臨時評議員会を開催。学校法人関西大学寄附行為改正に関する件につき審議した。

出席者(後略・イロハ順)

中務平吉 榎本信雄 岩本公夫 今西庄次郎 池田信之助 春原源太郎 林信夫 丹羽英夫 西尾専太郎 西村治三郎 西山四郎 西本寛一 戸根泰雄 織田佐代治 大石雄一郎 大月伸 大島真二 大島武夫 和田豊二 脇野徳三郎 河村宜介 桂忠雄 神宅賀壽 恵 神屋敷民蔵 竹澤喜代治 内藤正剛 中谷敬壽 中村正雄 長柄金吾 村尾静明 矢野文雄 矢口家治 保井剛一 松葉徳三郎 松原藤由 松尾高一 松村睦鴻 政井武 近藤政士 阿部基吉 明石三郎 木原繁實 木村健助 水谷揆一 宮島綱男 三島律夫 白川朋吉 下条小野右衛門 平井三朗

久井忠雄 森川太郎 関豊馬 岡師徳

四学部長改選

四学部長の改選は、九月四学部教授会においてそれぞれ選出され、十月一日付にて理事会で任命された。

法学部長 池垣定太郎教授
経済学部長 森川 太郎教授
文学部長 壺井 義正教授
商学部長 賀屋 俊雄教授
なお学部長代理には、櫻田啓(法) 高木秀玄(経) 横田健一(文) 河野稔(商) 各教授がそれぞれ選ばれた。

新学部長略歴

池垣定太郎学部長 京大法学、本学助教授、教授(法学部)、法学部長代理
森川太郎経済学部長 関大経済、本学講師、助教授、教授(経済学部)、経済学部長、図書館長、大学院兼務、経済学博士
壺井義正文学部長 東大文学、本学講師、教授(文学部)、文学部長代理
賀屋俊雄商学部長 東大法学、バリー・ベルリット外国語学校卒、本学講師、教授(経済学部後商学部)、商学部長、同部長



大阪駅頭の岩崎学長

学長岩崎卯一博士帰學

欧米各国における大学視察の為、七月一日大阪出発、同三日羽田空港から空路アメリカへ向い、主要大学を訪れた後、イギリス、ドイツ、オランダ、イタリア、スイス等の有名大学を視察し、九月五日からアムステルダムで開催された世界社会学会大会に出席、九月二十四日羽田空港着、同二十九日(土)大学関係者多数の出迎えを受け、無事帰学した。

川上教授帰學

昭和三十一年度在外視察研究員として

三月十九日(月)出発した法学部川上敬進教授は、ドイツ、イギリス、アメリカにおける国際法研究の实情並びに関係学会視察を終え、十月十一日(木)羽田空港着、十五日午後七時三十一分着「阿蘇」号で多数の出迎えを受け、無事帰学した。

松原教授渡欧

経済学部松原藤由教授は、昭和三十年在外学術研究員として選ばれていたが、十月二十九日(月)大阪駅発十二時三十分「はと」号にて多数の歡送に応えつつ出発、同三十日(火)羽田空港から空路欧州に向った。

「友」除幕式



第三学舎上棟式並に

鑄像「友」除幕式挙行

九月二十四日(月)午後三時より、役員、評議員、学生、後援会、建築関係者約一三〇名例席の上、神式により第三学舎の上棟式ならびに鑄像「友」の除幕式が行われた。なほ、第一学舎前に建立された鑄像「友」は我が国彫刻界の大家朝倉文夫氏の傑作である。

天六学舎体育館開館式

十月二十三日(火)午後二時より天六学舎体育館開館式は、役員、教職員等約四十八名の参列のもと神式によつて挙行された。

体育館は天六学舎正面玄関の横に建設され、室内はバスケットコートを取り、体操器具の設備等を完備して本格的体育館として清楚なりここに開館式を行なった。(表紙写真)

人事移動

昭和三十一年九月二十九日付
学長事務代行を解く 教授 森川 太郎
同年九月三十日付
任期満了につき大学院法学研究科幹事を解く 教授 池田 榮
任期満了につき法学部長を解く 教授 植田 重正
任期満了につき経済学部長を解く 教授 森川 太郎

任期満了につき文学部長を解く

教授 三木 治

任期満了につき商学部長を解く

教授 賀屋 俊雄

任期満了につき法学部長代理を解く

教授 池垣定太郎

任期満了につき経済学部長代理を解く

教授 杉原 四郎

任期満了につき文学部長代理を解く

教授 金子又兵衛

任期満了につき商学部長代理を解く

教授 河野 稔

同年十月一日付

大学院法学研究科幹事を命ずる

法学部長を命ずる

教授 福島 四郎

経済学部長を命ずる

教授 池垣定太郎

文学部長を命ずる

教授 森川 太郎

商学部長を命ずる

教授 壺井 義正

法学部長代理を命ずる

教授 賀屋 俊雄

経済学部長代理を命ずる

教授 櫻田 啓

文学部長代理を命ずる

教授 高木 秀玄

商学部長代理を命ずる

教授 横田 健一

教授に任ずる

教授 河野 稔

助教授に任ずる

助教授 三上 諦聰

助教授に任ずる

専任講師 藤本 勝次

教授の諸活動

学会出張

◆文学部三上諦聰助教授は六月二十八日より七月二日まで東洋文化研究所における教学会に出席。

◆法学部福島四郎教授は六月二十八日より七月一日まで東京大学における日本私法学会理事會に出席。

◆文学部川口勇教授、辻岡美延専任講師は七月四日から九日まで立教大学における日本心理学会総會に出席。

◆経済学部高木秀玄教授は七月九日より十五日まで小樽商科大学における日本統計学会総會に出席。

◆文学部石濱純太郎教授は九月二十一日から二十四日まで大阪高野山におけるチベット学会に出席。

◆商学部沼田昭夫助手は九月二十七日から三十日まで東京都立大学における公益事業学会に出席。

◆文学部杉原弘人助教授は十月十日から十三日まで金沢大学における第二十七回日本動物学会大会に出席。

◆商学部廣田司朗助教授は十月十七日から十月二十一日まで九州大学、西南学院における社会政策学会に出席。

◆文学部見次直雄教授は十月十九日から二十二日まで金沢大学における日本ドイツ文学会に出席。

講演

關西大學 共同隠岐文化綜合調査
島根大學 報告講演會

隠岐島綜合調査の報告講演會は、九月十五日午後一時半より毎日新聞社大阪本社講堂において、岡大主催、毎日新聞社後援のもとに行われた。

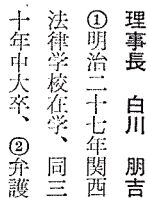
一開會の辭 島大文学部長 原田虎雄氏
一隠岐の先史文化 島大助教授 山本 清氏
一隠岐の社会構造と民俗 岡大教授 横田健一氏

一隠岐の民謡 同 吉永 登氏
一開會の辭 同 原弘二郎氏

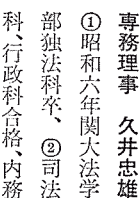
三氏の報告には、夫々スライド或はテレレコグラフィーを使用し、山本助教授は隠岐の先史文化は従来考えられていた大陸や朝鮮と密接な関連においてのものではなく本土文化の延長であり、これと密接に関連していた事を述べ、横田教授は隠岐の旧家、億岐家、佐々木家の例証を掲げ、社会構造、民俗慣習等を説き、吉永教授は、既に古老のみしか記憶していない状態にある古い民謡、「盆がきたらとて麦に米まぜて、中は小豆がちらほらと」等当時の隠岐の生活状態がしのばれる様な盆踊うた、木曳うた、くどき等をテレレコグラフィーによつて復原し、これを聞かせ、毎日新聞社講堂をうづめた聴衆に、夫々興味深い関心をひきおこして報告講演會を終了した。

- 一、職責以外五十音順
- 二、略歴①出身校②略歴③現職
- 三、敬称略

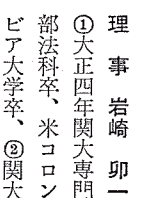
- 一、職責以外五十音順
- 二、略歴①出身校②略歴③現職
- 三、敬称略



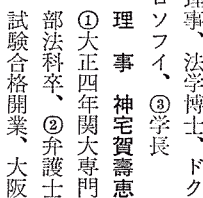
士開業、大阪市會議長、大阪市教育會評議員議長、琴平電鉄(株)相談役、電鉄(株)重役、關大監事、理事長、推薦校友、③弁護士



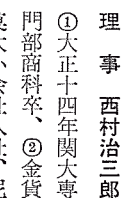
省に入り、群馬県桐生署長、島根県官房
主事、農務課長、統計課長、警視庁警備
課長、千葉県官房長、内閣情報局出版課
長、新聞課長、新潟県警察部長、弁護士
久大紡績(株)監査役、木津卸売市場(株)顧問、大阪アルマイト工業(株)監査役、兵庫
織維(株)社長、関大理事、③弁護士



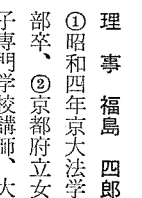
教授、九大及京大講師、関大法文学部長、



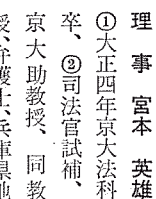
弁護士会副会長、関大講師、日本弁護士連合会監事、同理事、大阪府公安委員、③弁護士、^欄日本合成化学工業監査役、大阪府公安委員



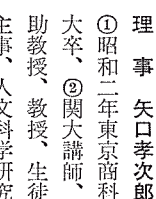
崎大同トラック(株)常務取締役、合同尼崎自動車運送(株)専務取締役、(株)阪神自動車用品取締役社長、神戸交通(株)取締役会長、成和土地(株)取締役社長、(株)カネキ商店取締役社長、関大監事、③大同通運(株)専務取締役、(株)カネキ商店取締役社長



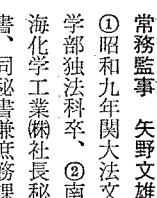
理事 福島 四郎
①昭和四年京大法学
部卒、②京都府立女
子専門学校講師、大



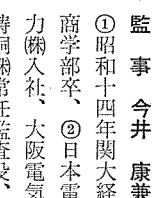
勞委會長、京阪神急行專務取締役、國際
勞働會議日本代表顧問、京大講師、③京
阪神急行電鉄(株)取締役、関西電力(株)顧問



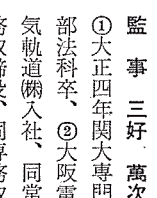
所研究員、經濟學部長、兼法學部長、大阪工業經營專門學校講師、關大學部學務課長、經濟學部長、短大部長、大学院生務、關西工業專門學校長事務取扱、關大學院部長、經濟學博士、③關大經濟學部教授



長、(株)中山製鋼所化学部工場課長、(株)矢野茂次商店店長、矢野常濟陶器工業(株)監査役、関大常務監事、③(株)矢野茂次商店副社長



大阪機械製作所取締役、帝國精密工業(株)取締役、財団法人第一病院理事、③(株)大阪機械製作所常務取締役



締役、関大監事、近畿車輛(株)取締役、近畿日本鉄道(株)取締役、同社取締役会長、
③近畿日本鉄道(株)取締役会長

新 評 議 員

一、職責以外五十首順
二、略歴①出身校②略歴③現職
三、敬称略



議長 阿部 基吉
①昭和七年関大専門
部法科卒、②司法科
合格、弁護士開業、
大阪弁護士会登録、
関大監事、大阪弁護士会副会長、アジア
法律家会議に日本弁護士連合会代表とし
て出席、③弁護士

副議長 大島 武夫
①昭和八年関大法
部法科卒、②弁理士
登録開業、大阪地方
裁判所調停委員



③弁理士



明石 三郎 ①昭和
十六年東北大法文
部法科卒、③東北大
助手、台北大講師、
関大教授、法学部長

③関大法学部教授



池田信之助 ①昭和
四年関大専門部英語
専攻科卒、②関大專
門部教務課主任、課
長、法学部文学部教



今井 康兼(前掲省略)

岩佐清三郎 ①昭和
七年関大法文学部英
法科卒、②京阪電気
鉄道入社、ジャワ
島バンドン市陸軍儲
行社支配人、③与太呂(株)取締役社長、京
阪自動車(株)嘱託、(株)サン食品工業代表取
締役、(株)ハウザー食品工業代表取締役

岩崎 卯一(前掲省略)



植野 郁太 ①昭和
十六年関大経済学部
商科卒、②関大研究
生、講師、助教、
専門部教授、大学教
授、商学部長代理、
③関大商学部教授



宇佐美正祐 ①大正
四年関大専門部法科
卒、同八年京大法文
部卒、②住友総本店
入社、ドイツ留学、



弁護士開業、土肥鋳業(株)監査役、日華鋳
業(株)監査役、住友電気工業(株)監査役、南
福崎土地(株)取締役、関大講師、同理事

保育園創設、③天美保育園理事長



③江里口医院長



越智比古市 ①昭和
七年関大法文学部法
科卒、③大阪通信局
嘱託、陸軍法務官、
③弁護士



大小島真二 ①大正
十四年東大文学部哲
学科卒、②独乙留
学、関大講師、教授、
予科長、文学部長、



図書館長、③関大文学部教授

大森 俊次 ①昭和
三十年関大法文学部卒
②大阪府旭今市郵便
局長、大阪市北部特
定郵便局長会長、近
畿地方特定郵便局長会副会長、全国特定
郵便局長会副会長、④大阪府旭今市郵便
局長、京阪神地方特定郵便局長、近畿
地方特定郵便局長会顧問、全国特定郵便
局長会評議員



岡野 衛士 ①大正
十一年関大専門部法
科卒、③大阪株式取
引所市場課長、同市
場監督、日本証券取
引所大阪支部次長、
同所理事及理事長、
③大阪証券取引所理事



織田佐代治 ①大正
十四年関大法文学部卒
②大阪府警部補、池
田、西淀川、東各警
察署長、大阪府北河
内地方事務所長、公安調査庁、和歌山地方
公安調査局長、④山口地方公安調査局長



榎本 信雄 ①昭和
三年関大法文学部卒、
②弁護士開業、③弁
護士



勝島 芳松 ①大正
十二年東京経済学部
卒、②日本郵船入社
山科汽船監査役、関
甲、関大一高教諭、

③関大一高教諭



桂 忠雄 ①大正
六年関大専門部法科卒
②関大会計主任、庶務
課主任、参事、経理局
長、③関大経理局長



門上 敏夫 ①昭和
十八年関大経済学部
卒、②国民総力朝鮮
連盟主事、国民総力
朝鮮義勇隊参事、大
阪輿論調査研究所長、世界輿論調査年次
総会日本代表として渡米、③大阪輿論調
査研究所長



神宅 賀壽恵 (前掲省略)
寒川 喜一 ①昭和
八年関大専門部法科
卒、②大阪市役所就
職厚生省所管動員署
勤務、大阪府勤務、
総務部職員課長、知事室企画課長、考査
課長、人事課長、③大阪府人事委員会事
務局長



川口 勇 ①昭和
十七年東大文学部心
理学科卒、③東大航
空研究所勤務、福井
師範教官、福井大学
助教授、関大助教授、教授、③関大文学
部教授



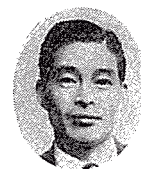
河村 宜介 ①大正
十四年京大経済学部
卒、②関大講師、助
教授、教授、専門部
主事、経商学部長、
短大部長、③関大商学部教授



小寺 小市郎 ①昭和
三年関大専門部法科
卒、②大阪府家屋税
調査委員、大阪国税
局北税務署増加所得
調査員、大阪府事業税審査委員、国光復
建綱社長、③国光復建綱取締役社長



教授、商学部長代理、③関大商学部教授
助手、関大講師、関
学講師、関大助教授、
小林 巖 ①昭和
十四年関大専門部法
科卒、②弁理士開業
大阪府会議員、③弁
理士、大阪府会議員



佐伯 五郎 ①昭和
十七年関大経済学部
卒、②鐘淵紡績(株)入
社、同淀川工場庶務
課長、③鐘淵紡績(株)淀
川工場庶務課長



白川 朋吉 (前掲省略)
關 豊馬 ①明治
四十四年関大専門部
法科卒、②司法科、
弁護士合格開業、関
大講師、理事、日本
弁護士会資格審査会委員、③弁護士



高垣 善一 ①昭和
十四年関大経済学部
卒、③和歌山市長



高松 正次 ①大正
八年関大専門部法科
在学、②弁護士試験
合格、市会議員、県
会議員、奈良弁護士会会長、日本弁護士
会理事、奈良市長、推薦校友、③奈良市長



竹澤喜代治 ①昭和
九年関大文学部法
科卒、②司法科合格
司法官試験、大阪地
方裁判所並同検事局
勤務、大阪地方裁判所判事、③大阪地方
裁判所判事



竹下 百馬 ①昭和
七年関大文学部卒
②久保田鉄工所(株)入
社、③久保田鉄工所
(株)取締役総務部長



辰馬 卯一郎 ①明治
四十二年関大法律專
門学校二年修業、②
西宮町会議員、西宮
市議会議員、西宮市
長、新日本汽船(株)常任監査役、萬歳酒
造(株)相談役



千蔵 克郎 ①昭和
二十六年関大経済学
部卒、②関西軽車輛
自動車部経営、キャ
ブトン販売(株)代表取
締役、③キャブトン販売(株)社長



寺西 武 ①昭和
二十四年関大法学部
卒、②大阪市会議
員、大宮幼稚園理事
長、寺西鉱泉(株)社長、
大阪工業大学講師、
③大阪市会議員



戸根 泰雄 ①昭和
七年関大経済学部卒
③森下仁丹(株)常務取
締役



中石 清一 ①昭和
五年関大法文学部法
科卒、②大阪時事新
報社記者、大阪市弘
濟院参事、大阪都市
協常任理事主幹、
大阪市協常任理事
大阪市協常任理事



中務 平吉 ①明治
四十二年関西法律專
門學校在学、明治四
十五年中大法学部卒
②弁護士、大阪地方
裁判所調停委員、大
阪弁護士会長、推薦
校友、③弁護士



中山 幸市 ①大正
十三年関大専門部商
科卒、②日本電建機
代表取締役、大平住
宅相互協取締役社長
大平火災相互協代表
取締役社長、③大平
住宅相互協社長、大
平火災相互協社長



長尾 昇 ①昭和
六年関大法文学部英
法科卒、②栗本鉄工
所資材課長、事務部
長、取締役、③栗本
鉄工所取締役住吉工場長



長柄 金吾 ①昭和
十二年関大経済学部
卒、②計理士、弁理
士、税理士登録開業、
司法書士認可開業、

前田金属工業監査役、同取締役会長、日本
計理士会副会長兼大阪支部長、大阪税務
代理士会常任理事、③計理士、税理士、
弁理士、司法書士業、全国計理士会連合
会外二会常任理事、中村産業(株)四社監
査役、大阪府金融経済事情審議会委員、
大阪府税審会委員



浪江 源治 ①昭和
二年関大法文学部法
科卒、②大阪弁護士
会所属弁護士、③関
大員外教授並に講師



仁尾 常壽 ①昭和
四年関大専門部英法
科卒、③大阪市保健
部、大阪市都島区役
所援護係長、大阪市
清掃局処理課長、大
阪市東成区長、③大
阪市東成区長



西尾 專太郎 ①昭和
七年関大法文学部法
科卒、③(株)赤穂組取
締役、東洋倉庫(株)營
業部長取締役、専務
取締役、日本倉庫統制
(株)本社厚生課長、
(株)西尾倉庫取締役
社長、関大監事、③
西尾倉庫取締役社長

西村治三郎(前掲省略)



西本 寛一 ①大正
十一年関大専門部法
科卒、②弁護士開
業、大阪地方裁判所
調停委員、大阪弁護
士会副会長、関大講
師、同員外教授、司
法試験委員、関大理
事、法学博士、③弁
護士、関大員外教授



野間 秀泉 ①昭和
九年関大法文学部哲
学専攻科卒、②能勢
妙見山本滝寺住職、
③妙見山本滝寺管主、
宗繪本山、能勢妙見
山本滝寺管主



春原源太郎 ①昭和
七年関大法文学部法
科卒、②大阪弁護士
会所属弁護士、関大
講師、理事、専務理
事、③弁護士



東浦 栄一 ①昭和
二十六年関大商学部
卒、③東浦自動車工
業(株)代表取締役、旭
幼稚園理事
久井 忠雄(前掲省略)



久松 鹿治 ①昭和
七年関大法文学部英
法科卒、③大阪府計
画課長、總務課長、
人事課長、考查課長



平井 三朗 ①昭和
八年関大法文学部法
科卒、②関大企画課
長、厚生課長、学生
課長、就職課長、天
六教務課長、③関大
天六教務課長



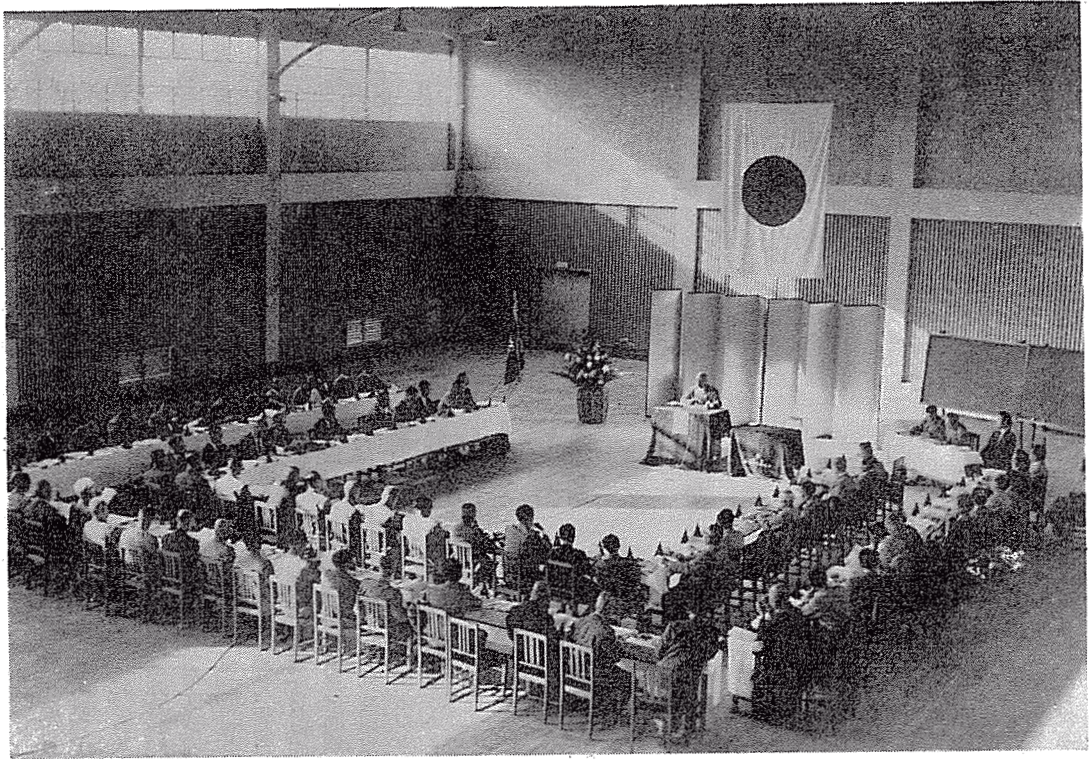
深川 實 ①大正
十四年関大専門部法
科卒、②司法科合
格、大阪弁護士会弁
護士開業、大阪学園
理事、理事長、学園
長、伊丹市会議員、
同市議長、③弁護士、
大阪学園理事長



福島 四郎(前掲省略)
藤野 春三 ①昭和
七年関大経済学部卒
②大阪府巡査、警視
大阪府警察学校長、
教養課長、企画・捜
査一・捜査二課長、
天満警察署長、市警
察部監察官、③大阪
府警察大阪府警察部
監察官



本多 喜慶 ①昭和
九年関大法文学部卒
②大阪高等実践女学
校長、③守口御坊盛
泉寺住職、守口市教
育委員長、守口地区
保護司会長



新 評 議 員 会 (昭和三十一年十月十日、於天六体育館)



堀 正人 ①大正十五年京大文学部卒
②関大教授、法文学部長、文学部長、欧米視察研究旅行、ロツクフェラー財団より研究補助を受く、
③関大文学部教授。



松尾 高一 ①昭和二年関大専門部経済科卒、②尼崎信用金庫理事、全国信用金庫協会副会長、尼崎商工会議所会頭、兵庫県公安委員、
③尼崎信用金庫理事、
崎商工会議所会頭、兵庫県公安委員、
③尼崎信用金庫理事、



松原 藤由 ①昭和十四年関大経済学部卒、②浪華商業学校教諭、関大二商講師、関大講師、教授、
③関大経済学部教授。



松村 睦鴻 ①大正十五年関大法学部卒、②大阪鉄道管理局総務、業務、公安各課長、京都駅長、大阪駅長、③国鉄参事、大阪駅長



三島 律夫 ①大正十一年関大専門部商科卒、②関甲教諭、関大報編集員、専門部講師、校友課長、一中教頭、校長、③関大一中校長。



師

水谷 揆一 ①大正二年コンビヤ大卒
②関大教授、講師、推薦校友、③関大講師



宮崎 平 ①昭和二十五年関大法学部政治科卒、②兵庫県鳴尾中学校教諭、大阪合繊販売部次長



宮島 綱男 ①明治四十年早大商科卒、
②英、仏、白に留学、早大教授、関大教授、理事、専務理事、理事長、国際労働会議使用者代表常任顧問、兼国際労働局理事、神戸日仏協会副会長、同協会附属神戸仏語学校長、日本経済専門学校理事、推薦校友、③著述業。



三好 萬次 (前掲省略)
村尾 静明 ①明治三十七年関西法律学校卒業、②大阪府警部、大阪府警視、大阪市主事、大阪市住吉区長、大阪赤十字病院事務長、関大理事、③大阪地方裁判所調停委員、八尾市公安委員長、法務省保護司、八尾市区保護司会長。



村上 精三 ①昭和五年関大専門部経済科卒、②大阪市教育局訓練、体育係長、行政局政課長、市会事務局議事、庶務課長、同次長、公聴課長、③大阪市公聴課長



森 寛紹 ①大正十五年関大法学部法科学卒、②高野山大学学監、総本山金剛峯寺執行、真言宗財務部長、③高野山普賢院住職、総本山金剛峯寺普賢、高野山真言宗會議員



森川 太郎 ①昭和三年関大経済学部卒、②関大二商教諭、関大講師、助教授、教授、専門部生徒主事、経済学部長、図書館長、在外研究員、学長事務代行、経済学博士、③関大経済学部教授。



八百村 稔 ①昭和十三年関大経済学部卒、②住徳機船務取締役、専務取締役、千年造船船務取締役、大和海運船社長、八百村海運商會社長、住広石炭機船務取締役、千年信用組合理事、中国船員地方労働委員会(使用者側)委員、③八百村海運商會社長、千年造船船務



專務取締役。

矢口孝次郎(前掲省略) 矢口 家治 ①大正六年京大法学科卒、②京都府裁判所判事、兼京都府裁判所判事、文部省在外研究員、高岡商教授、調査課長、庶務課長、生徒主事、学生課長、弁護士登録、判事、長野地方裁判所判事、兼長野野区裁判所判事、東京民事地方裁判所判事、東京刑事裁判所判事、東京区裁判所判事、東京控訴院判事、関大理事、専務理事、一中校長、関甲校長、③関大一高校長



保井 剛一 ①昭和十四年関大法学部英法科学卒、②安田火災(株)入社、保井金属(株)代表取締役、③保井金属(株)代表取締役



矢野 文雄(前掲省略) 山崎 敬義 ①大正十四年関大法学部法科学卒、②関大二商講師、司法科合格、司法官候補、大阪地方裁判所勤務、検事、大阪地検及区検事、公証人(神戸地方裁判所所屬)、神戸公証人会長、日本公証人連合會副會長、③日本公証人連合會副會長、神戸公証人会長



横田 健一 ①昭和十五年京大文学部史学科卒、②京大副手、海軍機関学校教授、同教官、海軍兵学校教官、神戸経済大学予科講師、関大教授、三高講師、関大文学部部長代理、③関大文学部教授。



吉田 一郎 ①昭和八年関大文学部独法科学卒、②堺公共職業安定所長、布施職業安定所長、西野田職業安定所長、大阪府民生部防災課長、③大阪府民生部防災課長



吉田鹿之助 ①大正十三年関大専門部法科学卒、②下京税務署長、上京税務署長、国税庁派遣大阪監督官室長大阪国税局徴収部長、同局調査々察部長、③熊本国税局長。



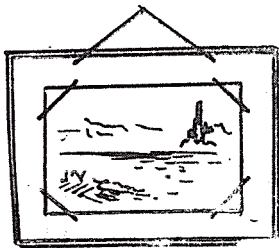
吉富 二郎 ①昭和十年関甲卒、②関甲教諭、③関大一中教諭、四辻 詮 ①昭和二年関大経済学部卒、②関大二商教諭、教務主任、教頭、大阪府物産統制協力會議



脇野徳三郎 ①大正十五年関大経済学部商科卒、②日本電力(株)入社、日本発送電(株)入社、関西電力(株)入社、③関西電力(株)黒部川第四水力発電所建設事務所次長



渡邊 正人 ①昭和七年関大経済学部卒、②敦賀市第三部長兼厚生課長、福知山市物資調整課長、振興課長、大阪市長、援護係長、庶務係長、大阪市教育福祉教育課長、大阪市厚生局庶務課長、大阪市福島区長、③大阪市福島区長。



學生

関西六大学野球

秋季リーグ戦始まる

関西六大学秋季リーグ戦は九月八日森の宮球場に於て、関大一神大戦を初戦に二ヶ月のリーグの幕は切つて落された。本学は春季リーグ戦・全日本大学選手権大会等に連勝し、今季のリーグ戦にも優勝の最右翼として神大等を軽く破り、破竹の勢いで戦い抜いている。

記録

九月八日 一回戦

於森ノ宮球場

関大 0 0 2 0 1 0 0 0 1
神大 0 0 0 0 0 0 0 0 0

九月九日 二回戦

於森ノ宮球場

神大 1 0 0 0 0 0 0 1 0
関大 0 0 1 0 3 1 0 0 A

九月十日 一回戦

於森ノ宮球場

神大 0 0 1 0 3 1 0 0 A
関大 0 0 1 0 3 1 0 0 A

九月十一日 一回戦

於森ノ宮球場

関大 0 0 1 0 0 0 1 0 0
神大 0 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十二日 一回戦

於森ノ宮球場

関大 0 0 0 0 0 0 0 0 0
神大 0 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十三日 一回戦

於森ノ宮球場

関大 0 0 0 0 0 0 0 0 0
神大 0 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十四日 一回戦

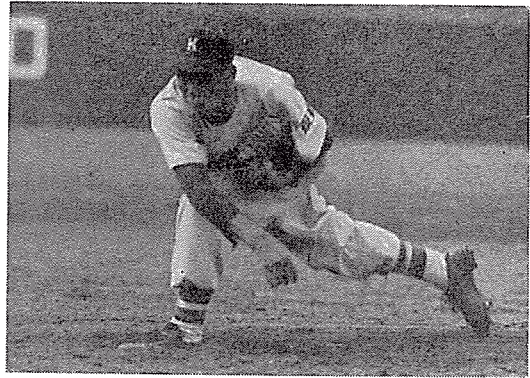
於森ノ宮球場

関大 0 0 0 0 0 0 0 0 0
神大 0 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十五日 一回戦

於森ノ宮球場

関大 0 0 0 0 0 0 0 0 0
神大 0 0 0 0 0 0 0 0 0



力投の村山投手



熱戦のアメリカン・フットボール

で熱戦を展開、本学は三回安打の橋野を村山が送り梅田の右前安打で先取、七回上田・香川の連安打で一点追加し、村山投手の好調なピッチングで一回戦を勝ち取った。

記録

九月二十三日

於西学院グラウンド

関大 3 3 3 0 1 4 1 0
同大 0 1 9 0 1 0 0 0

十月七日

於京大グラウンド

関大 2 5 0 0 1 3 6 6
同大 0 0 0 0 0 0 0 0

十月十四日

於衣笠グラウンド

関大 1 9 0 1 2 1 0 0
同大 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十六日

於衣笠グラウンド

関大 1 9 0 1 2 1 0 0
同大 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十七日

於衣笠グラウンド

関大 1 9 0 1 2 1 0 0
同大 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十八日

於衣笠グラウンド

関大 1 9 0 1 2 1 0 0
同大 0 0 0 0 0 0 0 0

九月十九日

於衣笠グラウンド

関大 1 9 0 1 2 1 0 0
同大 0 0 0 0 0 0 0 0

位進出を目指して秋季リーグ戦に臨んだが今期も健闘惜しく四位に甘んじた。

弓道部

八月二十一日から八月二十七日まで、豊橋弓道場に於て合宿練習を挙行。合宿中、愛知大、トヨタ自動車と親善射会を行いこれを破り、帰阪後九月二日、近畿連合射会に優勝、同十六日、大阪府月例会にも個人、団体共優勝した。

記録

八月二十六日

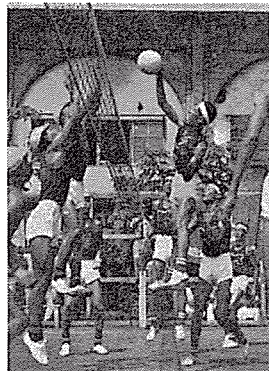
於豊橋弓道場

関大 96 中 58 中 愛知大
八月二十六日 於トヨタ弓道場

九月二日 近畿連合射会 於神戸王子道場

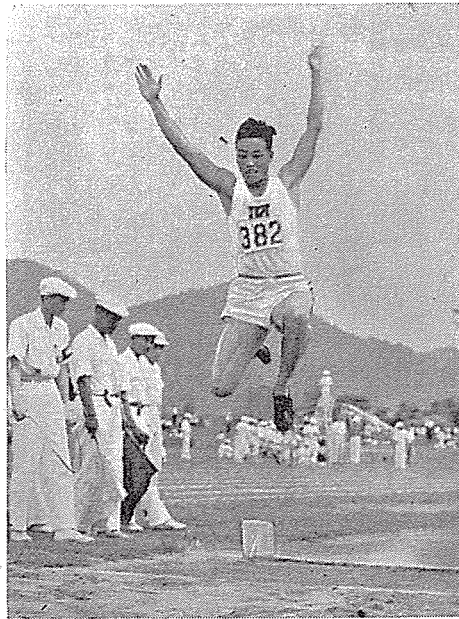
優勝 関大三組(多田、西岡、山本)
九月十六日 大阪府月例会 於鐘紡弓道場

個人優勝 山本利秋 17 中
団体優勝 関大(泉谷、西岡、山本)



古川（サッカー）園田（陸上・校友）

オリンピック選手に決定



園田選手（産経新聞社提供）

得したのである。
園田裕四郎選手
昭和三十年本学を卒業した園田裕四郎選手は、九月十六日の一般対学生対抗陸上競技大会で走幅跳に七米二十六を跳び第一次オリンピック派選選手と決定。

園田選手は、昭和二十六年徳島工業高校から本学に入学し、その年の全日本学生陸上競技対校選手権大会に走幅跳に二位に入賞し、その結果日米陸上競技対抗に出場し全日本を転戦。昭和二十八年夏ドイツのドルトムントに於て行われた国際学生大会に日本代表として出場、走幅跳に七米三十二を跳び第五位に入賞、その後欧州を転戦し好成績を治めた。二十九年春にはフイリツピンのマニラで行われたアジアオリンピックに日本代表として出場、その夏全日本学生陸上競技対校選手権で三種目（百十米・ハードル・三段跳・走幅跳）優勝を成し、三種目優勝は第一回大会（昭和三年）織田幹雄（早大）選手が成して二人目で二十六年振の事である。三十年本学を卒業と共に八幡製鉄K・Kに入社、その夏スペインで行われた国際学生大会に日本代表主将として四百米リレー・走幅跳・三段跳等に出場して好成績を治め、主将の重任をはたして帰国、本年メルベルンのオリンピック大会参加で外国遠征四度目、国際試合は数多く日本陸上界のホープである。

園田選手の最高記録
走幅跳 七米四十四
三段跳 十五米二十三
百十米障害 十五秒二

稲葉選手

オリンピック行を逸す

本学ボクシング部稲葉選手はオリンピック候補選手として合宿練習に参加していたが、八月三日からオリンピック選考会が行われ決勝にて鈴木選手（明大）に破れオリンピック行を逸した。



稲葉選手

古川好男選手

日本蹴球協会は九月二十一日午後三時メルボルン・オリンピック大会に派遣する日本代表チームのメンバーのゴールキーパーとして本学法学部四年次生古川好男選手を決定。

古川選手は大阪明星高校から本学へ入学し、ゴールキーパーとして活跳、毎年関西学生選抜軍として出場、サッカー日本のビッグゲームの一つである全国三地区大会に全関西代表として出場する事三回、全日本蹴球選手権にも毎年出場し東西学生蹴球王座決定戦に出場して二度の勝利をもたらし、日本サッカーの沈運

を決するオリンピック選日本対韓国戦に二回戦共出場活跳これを破りオリンピック大会の出場権を得てここにオリンピック大会日本代表としての栄冠を獲



古川選手

昭和三十一年十月三十日発行

関西大学學報 第二九六號

大阪府大淀区長柄中通二丁目一・二番地

編集兼

久井忠雄

発行人

ナニワ印刷所

印刷所

電話(35)七二八〇番

会社

電話(35)七二八〇番

発行所

電話(35)七二八〇番

大阪府大淀区長柄中通二丁目

電話(35)七二八〇番

電話(35)七二八〇番

電話(35)七二八〇番

電話(35)七二八〇番

電話(35)七二八〇番



校 友 バ ッ チ

校

友

友 校 友 会 総 会

六月十日(金)天理教本部及び天理大学図書館等の見学として、昭和三十一年度第二回友校友会総会を行った。

出席会員のうち、二、三名は既に参拝済であつたが大多数の人々は初めてでその優美さに驚き、本殿、休憩室、プール、及大学図書館の設備等の点多いに感心させられた。午後は和田幹事の発案で天理市の花嫁学校を見学し午後六時散会。

当日参加者
安藤博重 岸上輝生 加茂三郎 河野好雄 島津徳三 城下正行 並川治郎 西沢隆 橋谷末吉 前田種人 松本勲 森田文一郎 森本勇 和田秀一

在 学 生 合 併 懇 親 会 徳 島 支 部

八月十九日(金)中田氏方に於て大学側より矢野常務監事、桜田誉教授を迎え午後二時より盛大に開会。

先づ三宅支部長の開会の辞に始まり、櫻田教授の外遊講演を興味深く聞き、矢野常務監事の母校の近況報告があつた。小宴会に入り和氣藹々裡に終了。直ちに相呼応して予定通り母校印入り揃いのユカタで名物阿波踊りに多種多様な踊り子連にも劣らず、打興し關西大學の意氣を博した。

祥 久 会 秋 季 総 会

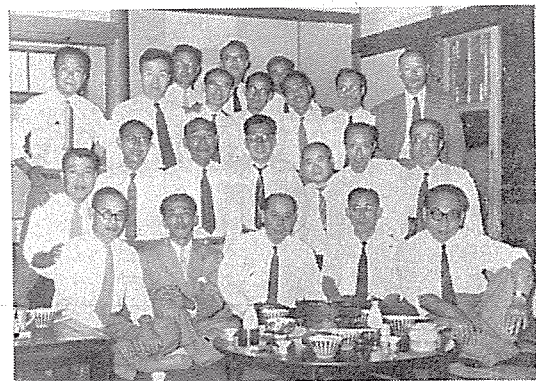
祥久会昭和三十一年度秋季総会は十月六日(土)午後六時から料亭「双葉」に於て開催。森下幹事の司会に始まり河内副会長の開会挨拶、矢野会長の挨拶に引続



徳 島 支 部 総 会



祥 友 会 秋 季 総 会



千 里 山 昭 八 会 総 会

き役員改選に入つたが会長は矢野文雄氏の留任に決定した。次いで今回、大学の評議員に当選された江里口春志、竹澤喜代治、野間秀泉、本多喜慶四氏の当選を祝ひ今後の活躍を大いに激励した。四氏の内外で手を握り母校の発展に寄与してゆこうと一段と決意を固めた。宴は夜の更けるに従つて熱を帯び、学生時代のニツクネームまで飛び出し和氣藹々の内に九時なつかしい学歌を斉唱して解散した。

出席者

浅野時男 魚谷弥一 江里口春志 小島寛太郎 川並秀雄 河合中 河内三三 左海伊和 鈴木盛三 中川喜久 河西信行 中尾幸蔵 中山敏 永井政次 野間秀泉 飛田陽一 藤井安郎 藤木操 松谷連哉 森村次 森下善雄 矢野文雄 柳田榮次

千 里 山 昭 八 会

十月八日(月)午後六時より、平野町やお政に於て第四十四回例会を開催。今回

母校評議員に当選した昭八会の浦野健二郎、大島武夫、平井三朗、吉田一郎の四氏に対し幹事、一同を代表して祝意を表し、更に今後母校の興隆発展に一層の努力貢献を要望する。当選者交々立つて謝意を述べ今後四ヶ年間母校に対し為すべき決意の程を披露して小宴に入つた。銘酒も多く、メートルはいやが上にも上昇し、母校に対する注文が殺到して母校を思ふ熱情には心打たれるものが多かった。話も気焔もいつ果てるか際限もない有様であつたが次回へ名残りを惜みつつ学歌を高唱して午後十時散会。

出席者

中村重男 田辺卓起 泉隆利家 中

昭和三十一年

校 友 名 簿

昭和28年度版を増補・改訂しました
同窓との親睦連絡に
ぜひ御利用下さい

— 収載人員二六、〇〇〇余名 —

申込先

關西大學校友課
大阪府大淀区長柄中通二丁目
振替大阪一三二八七五番

国大川三二 岩田定一郎 美吉克之祐 竹藤辰造
斎藤正興 吉田一郎 浦野健二郎 北村文三郎 助
健一 宮脇三郎 藤本順二郎 結城内太 田坪長島
平井三朗 西田春造

關西大學 法學論集

創立七十周年

記念特輯

(執筆者)

岩崎卯一 中谷敬壽 池田榮 堀堅士 内田修 植田重正 中義勝 和田豊二 木村健助 福島四郎 明石三郎 西本寛一 池垣定太郎 岩本慈 石尾芳久

三四九頁・かがり巻表紙
頒価 金三百五十円

關西大學 文學論集

創立七十周年

記念特輯

(執筆者)

井上吉次郎 岡野留次郎 大小島真二 田中照 秋山博愛 魚澄惣五郎 末永雅雄 高橋盛孝 藤本勝次 三上謙聰 横田健一 飯田正一 澤瀉久孝 金子文兵衛 吉永登 大西昭男 小野勇 進藤治二郎 玉木意志太宰 角田文雄 広瀬捨三 堀正人 山本榮一郎 三木治 見次直雄 橋田慶蔵 石浜純太郎 広岡英雄 星野信夫 小方厚彦 福本喜之助 入江深 河村信一

七二〇頁・かがり巻表紙
頒価 金七百円

關西大學 經濟論集

創立七十周年

記念特輯

(執筆者)

高木秀玄 市原亮平 三谷友吉 深村榮治 杉原四郎 齋方貞亮 矢口孝次郎 荒井政治 東井正美 森川太郎 松原藤由 越後和典 宇田米夫

二九〇頁・かがり巻表紙
頒価 金三百五十円

關西大學 商學論集

創立七十周年

記念特輯

(執筆者)

山崎紀男 賀屋俊雄 今西庄次郎 河村宣介 板橋菊松 越江城夫 植野郁太 酒井文雄 河合信雄 安田信一 河野 稔 寺尾晃洋 植尾昌哉

二七一頁・かがり巻表紙
頒価 金三百五十円

關西大學 法制史學會 共編
關西大學經濟學會經濟史研究室

大阪周辺の村落史料

A5判 フランス綴箱入

本書は關西大學圖書館に所蔵されている貴重な村落史料のうち、庄屋文書といわれる庄屋の蔵に放置されていた記録を纏めて、法制史及び經濟史は勿論、一般史学やその特殊部門の研究に寄与せんとして公刊されるものである。
庄屋文書のなかには、庄屋自身の任命、退役から、触、達、回状、農民の五人組、宗門改、検地、耕作、年貢、水論、新田開発等は勿論、田畑建物の売買質入、奉公人、人身売買、縁組、相続、遺言、往来手形、寺送り村送り等に至るまで、百般の法律行為に関する文書までが保存されているので、近世農民の法律および社會經濟生活はこれらの史料によつて明かになるであらう。

第一輯 (庄屋文書)

二二〇頁 頒価 金四〇〇円

既刊

本輯に選んだのは訴訟に関する書類の多い河州松原村、摂州味舌、耳原両村の庄屋留書である。

第二輯 (耕地、拝借銀、頼母子)

一七〇頁 頒価 金三五〇円

既刊

本輯に選んだのは、農耕の基となる肥料と、その購入資金と入手法にまつた農民の努力と法律關係、および金融、とくに御発起無尽と称せられる藩政頼母子の運営等に関する書類である。

第三輯 (証文集)

約二二五頁

近日刊

(なお御入用の方は大學出版部へ直接御注文下さい)

關西大學出版部
大阪市淀川区長柄中通二丁目

発売所

關西大學

發行所

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可
昭和三十一年十月三十日發行(毎月一回三十日發行)

關西大學學報 第二九六号 十月号